

1 駅前公共施設に関する市民アンケート調査の実施概要

(1) アンケート調査の目的

酒田駅前の旧ジャスコ跡地を中心とした区域で、交流・にぎわいの創出を図るために計画されている複合施設に入る公共施設「酒田コミュニケーションポート」（仮称）について、多くの市民から利用していただける魅力ある施設整備を図るための基礎資料とするため実施した。

(2) アンケート調査の実施状況

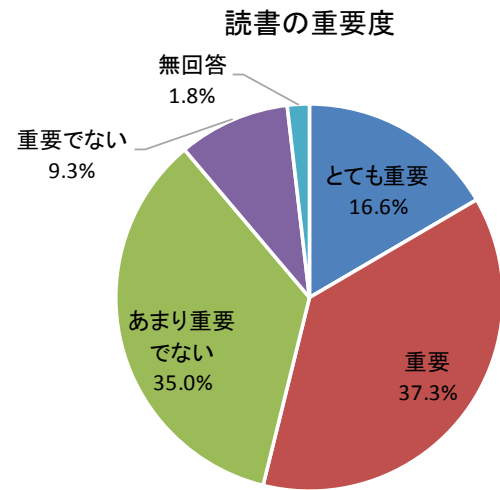
- ①実施期間 平成28年8月1日（月）～8月22日（月）
- ②実施手法
  - ・市内在住の中学生以上無作為抽出2,000人アンケート用紙を郵送
  - ・市内公共施設11箇所にアンケート用紙を備付
  - ・市のホームページにアンケート用紙を掲載
- ③回収サンプル数 869件（男性361、女性507、無回答1）

2 結果と分析

(1) 読書に関する状況について

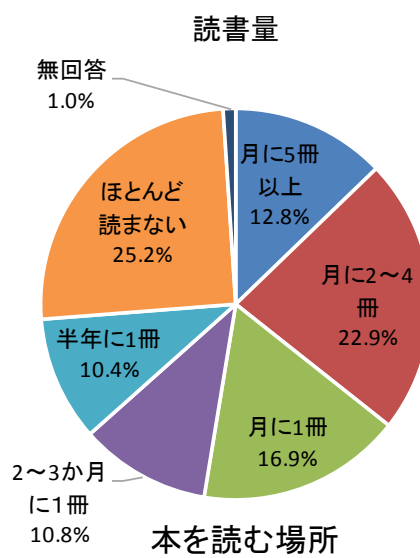
①読書の重要度

「とても重要」「重要」合わせて53.9%と5割を超えた。



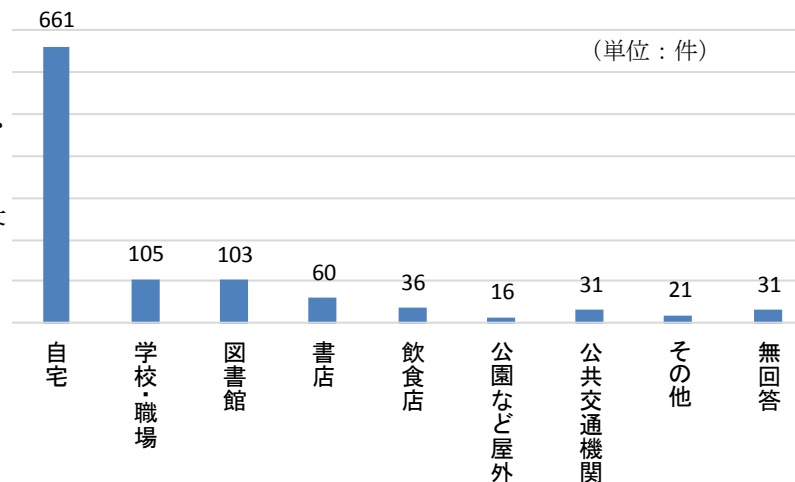
②読書量

「ほとんど読まない」が25.2%と4分の1を超える一方、月に2冊以上読む人も35.7%おり、読書量には、ばらつきが見られる。



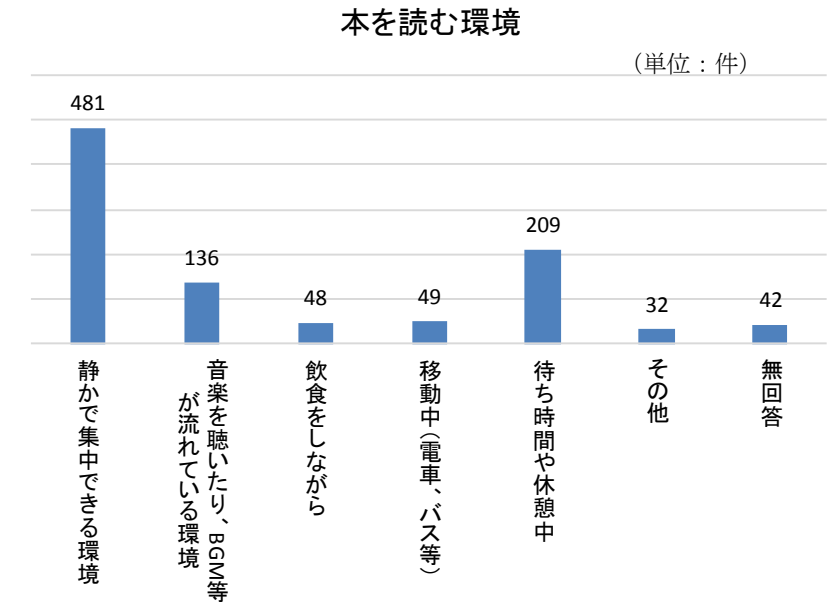
③本を読む場所

「自宅」が圧倒的に多く、次いで「学校・職場」「図書館」の順であった。「その他」では、病院（診察の待ち時間）という回答が複数あった。



④本を読む環境

「静かで集中できる環境」が最も多く、「待ち時間や休憩中」「音楽を聴いたり、BGMが流れている環境」が続いた。「その他」では、寝る前、自宅居間、美容院等であった。

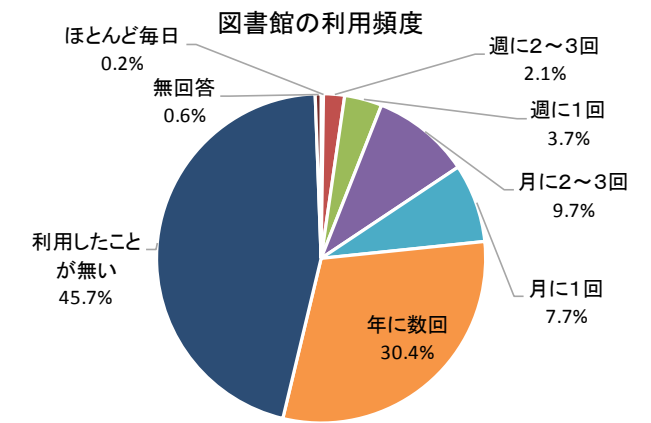


(2) 現在の中央図書館（児童図書室を含む）について

①図書館の利用頻度

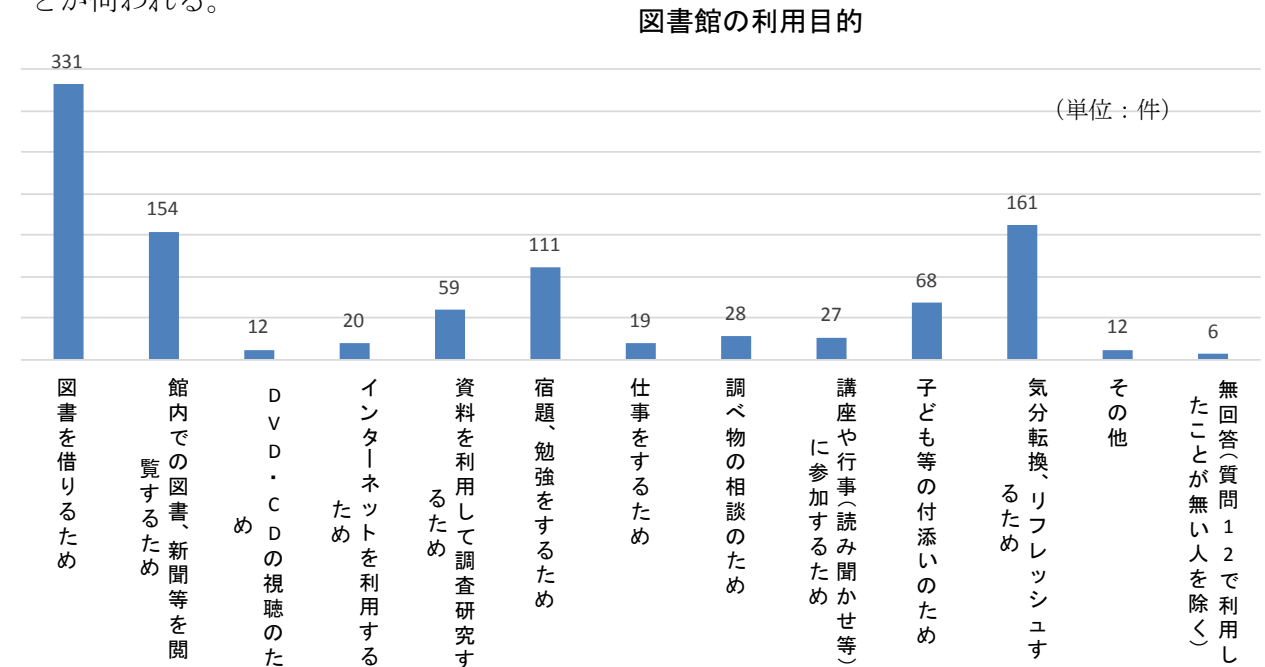
「利用したことが無い」が45.7%に上った。次いで「年に数回」が30.4%となり、図書館利用経験が全体的に少ない。

「月に2~3回」以上利用する図書館の定期的利用層は、15.7%であった。



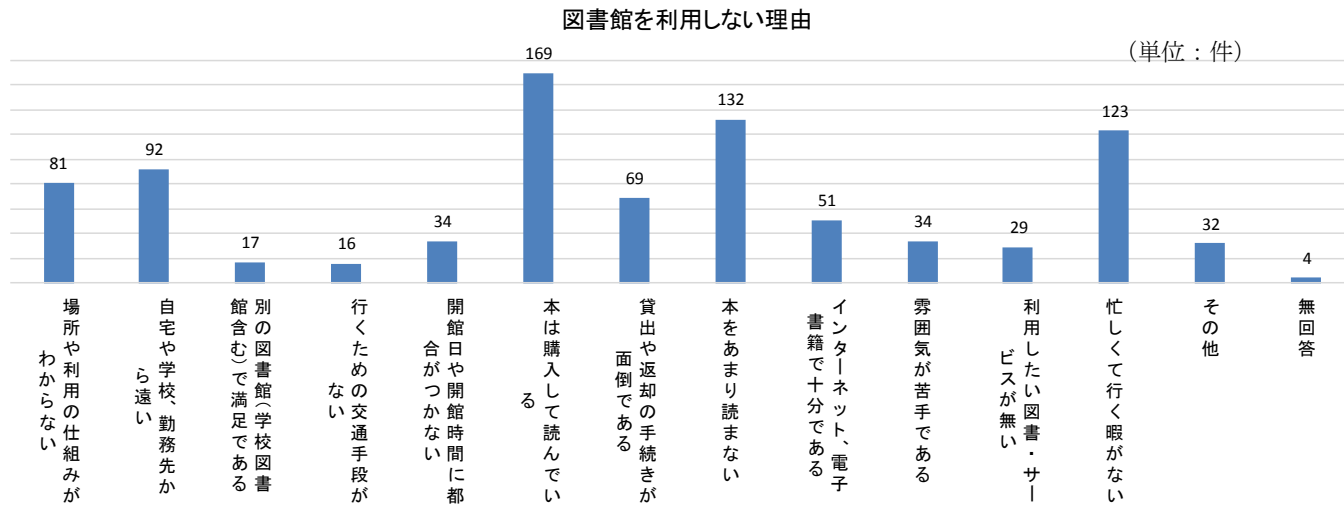
②図書館の利用目的

「図書を借りるため」が最も多く、「館内での図書、新聞等を閲覧するため」と合わせて、資料の利用を目的とするものが全体的に多くある一方、「気分転換、リフレッシュするため」も多く、特に目的が無くても気軽に行ける場所という捉えられ方もしていることが伺われる。



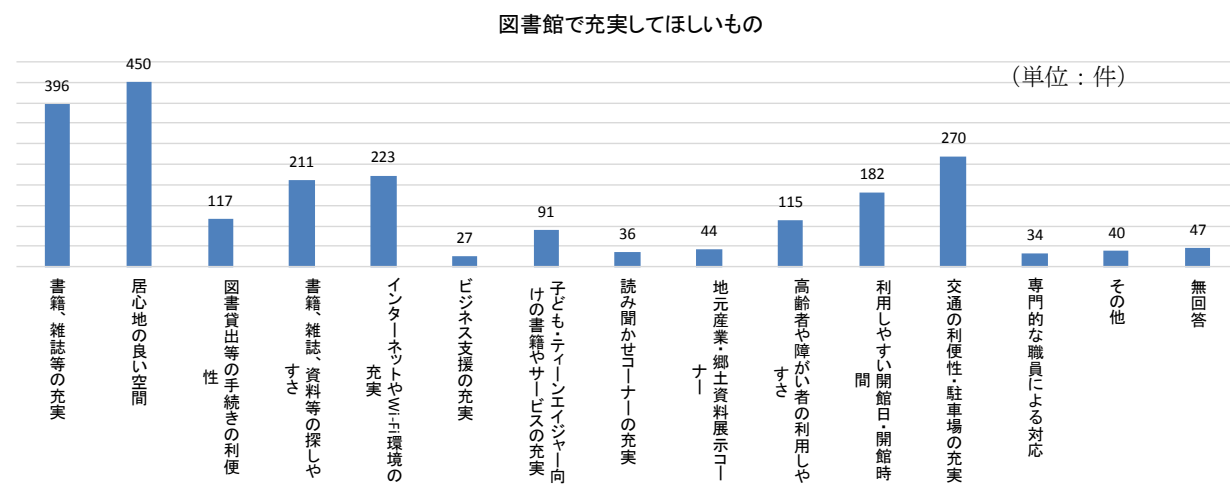
### ③ 図書館を利用しない理由

「本は購入して読んでいる」が最も多く、次いで「本をあまり読まない」「忙しくて行く暇がない」となっている。「自宅や学校、勤務先から遠い」「場所や利用の仕組みが分からない」も多かった。「その他」では、目が悪い、ライフスタイルにマッチしない、などがあつた。



### ④ 図書館で充実してほしいもの

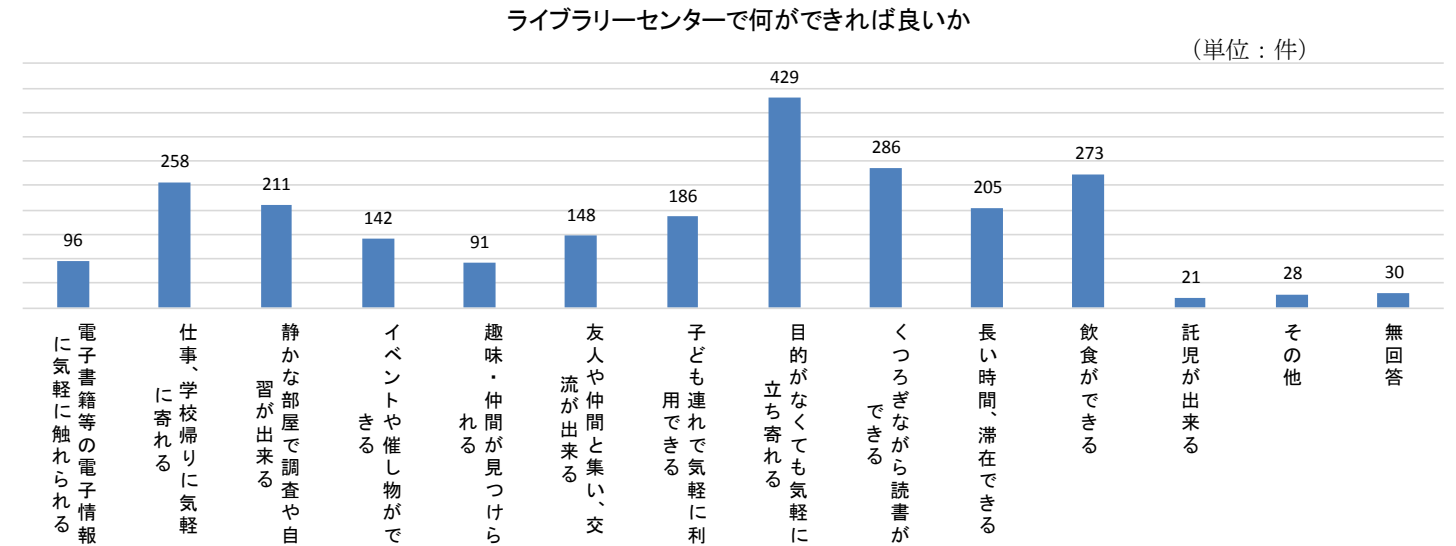
「居心地の良い空間」が最も多く、次いで「書籍、雑誌の充実」「交通の利便性・駐車場の充実」「インターネットやWi-Fi環境の充実」「書籍、雑誌、資料等の探しやすいさ」「利用しやすい開館日・開館時間」が続いている。「その他」では、DVDや視聴覚コーナーの充実、電子書籍、自習室や学習スペース等の充実、などがあつた。



### (3) 酒田コミュニケーションポート(仮称)について

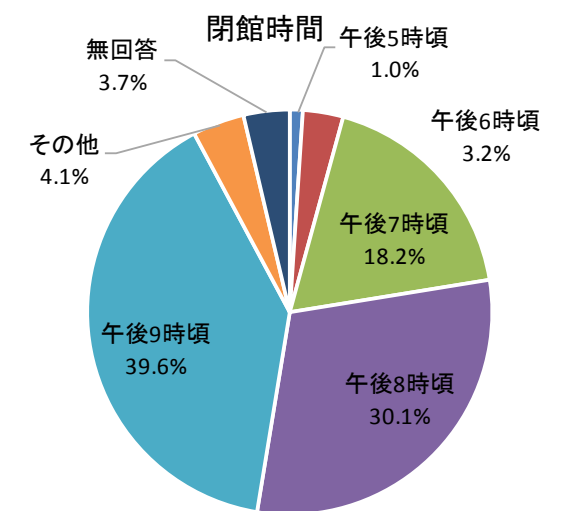
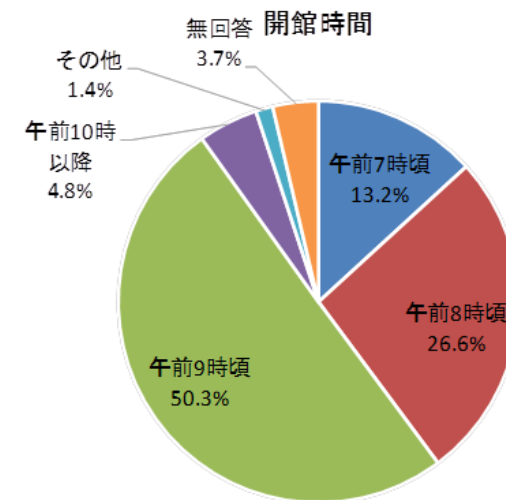
#### ① ライブラリーセンターで何ができれば良いか

「目的がなくても気軽に立ち寄れる」が最も多かった。次いで「くつろぎながら読書ができる」「飲食ができる」「仕事、学校帰りに気軽に立ち寄れる」と続いており、「静かな部屋で調査や自習ができる」「長い時間、滞在できる」「子ども連れでも気軽に立ち寄れる」にも一定の回答があり、多様な使われ方が求められていると想定できる。「その他」では、夜間も利用できる、という意見が複数あつた。



#### ② 開館時間・閉館時間

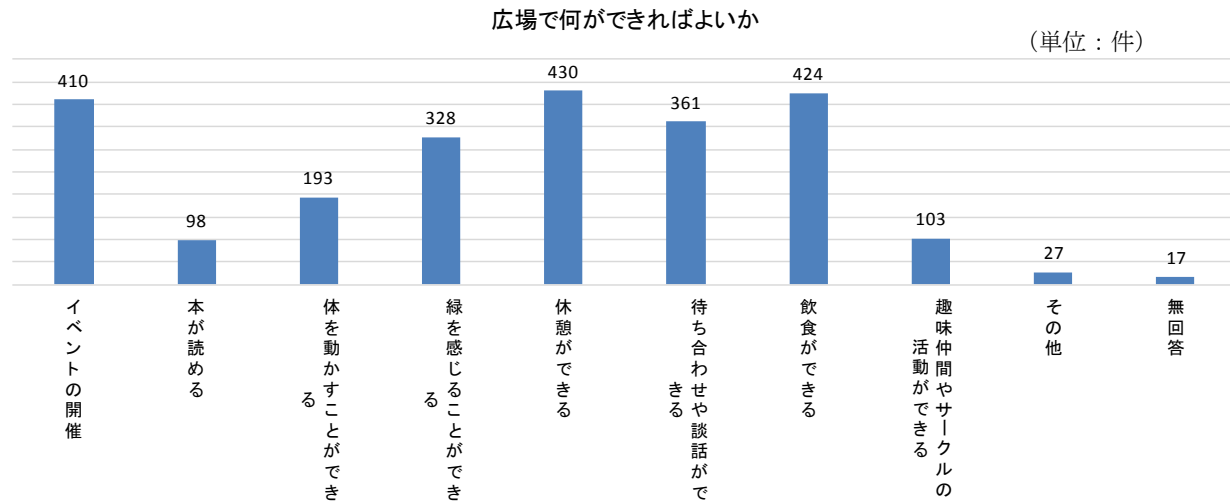
開館時間は、「午前9時頃」が最も多く、「午前8時頃」「午前7時頃」にも一定の回答があつた。閉館時間については、「午後9時頃」が最も多く、「午後8時頃」が続いた。「その他」では、午後10時、午後11時、24時間開館、という回答も複数あつた。



### ③ 広場で何ができれば良いか

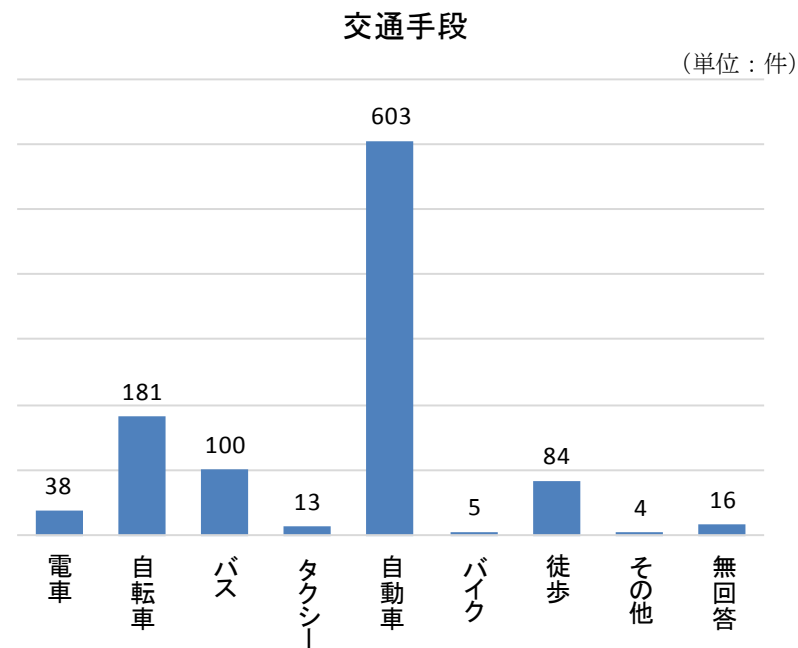
「休憩ができる」「飲食ができる」「イベントの開催」がほぼ拮抗し多かった。次いで「待ち合わせや談話ができる」「緑を感じることができる」が多かった。「体を動かすことができる」にも一定の回答があった。

「その他」では、子どもを遊ばせることができる、という意見が複数あった。



### ④ 交通手段

「自動車」が圧倒的に多かった。次いで「自転車」「バス」「徒歩」の順であった。

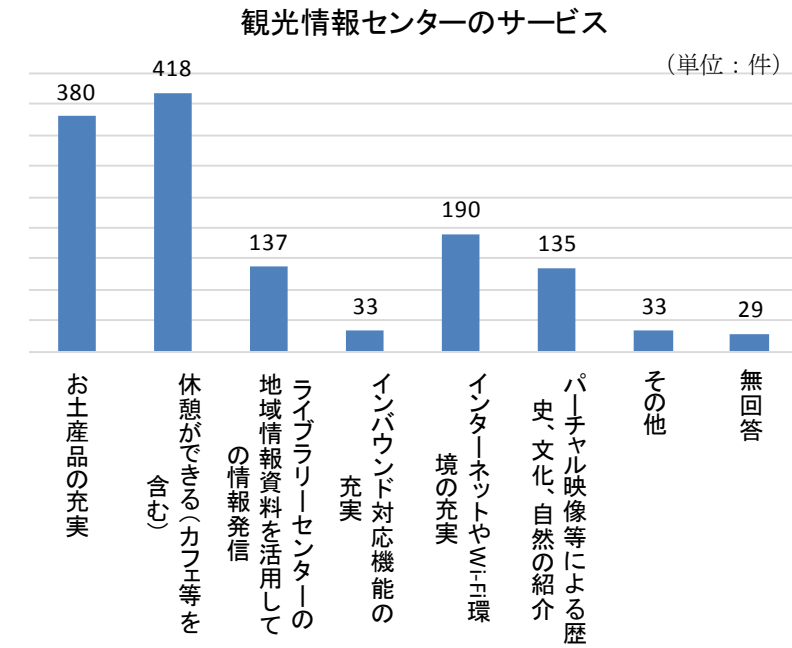


### ⑤ 観光情報センターのサービス

「休憩ができる（カフェ等を含む）」が最も多く、「お土産品の充実」が続いている。

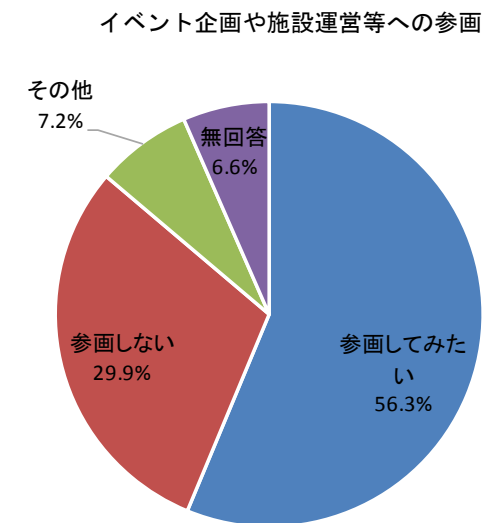
「インターネットやWi-Fi環境の充実」にも一定の回答があった。

「その他」では、人材の配置、ガイド機能の充実、レンタカー・レンタル自転車の充実、等の意見があった。



### ⑥ 運営等への参画

「参画してみたい」が最も多く、「その他」でも、内容による、時間が合えば、という回答が多くあり、関心は高いことが伺われた。



## ⑦自由意見

### <駐車場、公共交通>

駐車場に対する意見が、全体を通して最も多かった。移動手段として、自動車利用率が高い地域であるため、関心の高さが伺われる。その中において駐車料金については、無料化(又は施設利用者は無料)を望む意見が多かったが、適正な管理運営を望む意見も数件寄せられている。

また、規模の充実(台数確保)や駐車しやすさを求める意見もあった。自動車を持たない方の公共交通の充実(既存の路線バスの本数の充実や観光バス等)を望む意見もあった。

### <多様な世代>

子ども連れでも気軽に行ける、高齢者や障がい者にも優しく、若者が集まれる場が必要、などの意見はどれも各世代で幅広く望まれるものであった。

### <観光>

観光の視点では、駅前という立地上の特性から、誰にも分かりやすい酒田の案内図の整備、土産品の充実、酒田の情報発信など、酒田の顔(玄関口、観光起点)として求められる機能の充実に関する意見が寄せられた。

### <冬期間>

冬場に子どもを連れていく場所、冬を明るくする居心地の良いところを望む、という冬場の居場所づくりに対するニーズもあった。

### <その他>

駅前整備への否定的な意見も散見された。

## (4) クロス集計による分析

### ①図書館を利用したことが無い市民の分析

#### <読書の重要度、図書館を利用しない理由>

読書が「重要でない」「あまり重要でない」という回答、及び本を「ほとんど読まない」という回答割合が全体より高い。また、図書館を利用しない理由も「本は購入して読んでいる」「本をあまり読まない」が上位であり、この層は「本の充実」という手段では来館動機に結び付かないと考えられる。

#### <図書館で充実してほしいもの>

「居心地の良い空間」に次いで「交通利便性・駐車場の充実」が多く、交通手段の質問項目でも「自動車」が7割を超えることから、アクセス環境は大事なポイントと考えられる。

#### <ライブラリーセンター、広場で何ができれば良いか>

ライブラリーセンターでは、「目的がなくても気軽に利用できる」「飲食ができる」が回答全体より高い割合となっており、広場については「休憩ができる」「飲食ができる」「イベントの開催」が高い。



本を借りる・読むなどの動機がなくても、くつろげたり、飲食ができたり、イベントに参加できるなどのきっかけがあれば、利用者になる可能性があると考えられる。運営等への参画も「してみたい」が「しない」を8ポイント近く上回っており、きっかけさえあれば参画する意欲はあると考えられる。

## ②中学生、高校生、専門学校生・大学生及び20歳代の分析

### <読書の重要度>

中学生は「とても重要」「重要」が合わせて73.9%になるが、高校生、専門学校生・大学生(以下「専門・大学生」という。)になると、「重要」と「あまり重要でない」が拮抗するようになり、20歳代というくくりでは「あまり重要でない」が4割を超える。

### <読書量>

特に高校生で、「本をほとんど読まない」という回答割合が中学生より18ポイントも多くなっている。



中学生から高校生への過程で読書への動機づけを持続させるような取組みが求められるとともに、本離れが進んでしまう世代に対し、本だけではない魅力を施設に持たせる必要があると考えられる。

### <図書館の利用目的>

「宿題、勉強をするため」が高校生で5割を超え、中学生及び専門・大学生でも4割前後となった。一定の学習室の確保が重要であると考えられる。

### <図書館を利用しない理由>

中学生及び専門・大学生では「自宅や学校から遠い」が多く、高校生では「本は購入して読んでいる」「忙しくて行く暇がない」が多くなった。アクセスの改善を図るとともに、部活動等学校での活動が忙しいと考えられる高校生には、行ってみたくなる仕掛け、高校生世代が読む本の分析と収集が必要であると考えられる。

### <図書館で充実してほしいもの>

中学生及び高校生では「書籍、雑誌等の充実」「居心地の良い空間」「インターネットやWi-Fi環境の充実」が上位3つを占め、専門・大学生では「書籍、雑誌等の充実」に代わり「交通の利便性・駐車場の充実」が上位に入った。20歳代というくくりでも同様の傾向が見られた。

### <ライブラリーセンターで何ができれば良いか>

「目的がなくても気軽に立ち寄れる」「飲食ができる」が共通して支持があったが、高校生では「学校帰りに気軽に寄れる」が5割以上、専門・大学生では「長い時間滞在ができる」が6割以上、「静かな部屋で調査や自習ができる」が4割以上の回答があった。20歳代では、「目的がなくても気軽に立ち寄れる」に次いで「仕事、学校帰りに気軽に寄れる」が多くなっている。目的がなくても立ち寄れる気軽さ、居場所があることがこの世代には重要なポイントとなることが伺われる。

### <開館時間・閉館時間>

開館時間については、午前9時頃が多かったが、午前8時頃も3割以上の回答があった。

閉館時間については、中学生は午後8時頃、高校生及び専門・大学生では午後9時頃の支持が多くなった。20歳代では、午前9時頃開館、午後9時頃閉館が5割以上となった。

### <広場で何ができれば良いか>

「飲食ができる」「イベントの開催」が共通して支持があった。専門・大学生では「休憩ができる」に6割の回答があり、中学生及び高校生には「待ち合わせや談話ができる」に一定の支持があった。20歳代では「緑を感じることができる」にも4割の支持があった。

#### <観光情報センターのサービス>

「お土産の充実」が共通して最も多いが、20歳代というくくりからは「休憩ができる」が多くなり、30歳代以上でも同様である。若い世代は、お土産の充実に観光の価値を置いていることが分かる。

#### <運営等への参画>

中学生で69.2%、高校生で61.9%、大学生で67.2%という高率であった。年代別に見ても、10歳代は64.7%で、世代間で最も高くなっている。これらの年代をターゲットにした仕掛けづくりを、積極的に取り組む必要があると考える。

### ③午後9時頃の閉館希望者の分析

#### <年齢>

10歳代～50歳代で各年代内での支持が最も多くなっている。60歳代では午後8時頃に次いで2番目、70歳以上では午後7時頃、午後8時頃に次いで3番目に下がる。

#### <職業>

会社員が突出して多く、午後9時頃と回答した人の37.5%を占め、会社員の中でも50.8%が午後9時頃を支持している。

#### <図書館の利用頻度>

図書館を「年に数回利用する」「利用したことがない」という人が、回答者の78.8%を占めており、時間延長が、あまり利用していない層が来館するきっかけの一つとなり得ると考えられる。

#### <図書館で充実してほしいもの>

「利用しやすい開館日・開館時間」と回答した人の51.1%、「インターネットやWi-Fi環境の充実」と回答した人の50.2%が午後9時頃を選択している。

#### <ライブラリーセンターで何ができれば良いか>

「飲食ができる」と回答した人の46.5%が午後9時頃を選択している。



午後9時頃まで開館していれば、利用しやすいと感じる人が多く、そこでインターネットやWi-Fiが使える、飲食ができれば、さらに利用動機が高まると考えられる。

#### <広場で何ができれば良いか、観光情報センターのサービス>

広場については、「飲食ができる」と回答した人の44.3%が、観光情報センターについては、「インターネットやWi-Fi環境の充実」と回答した人の48.4%が、午後9時頃までの開館を選択しており、飲食とインターネット・Wi-Fi環境整備は、ライブラリーとの相乗効果をもたらすことができると考えられる。

### ④図書館の定期的利用者の分析

※図書館の定期的利用者＝「月に2～3回」以上利用すると回答した方をいう。

#### <読書の重要度、読書量>

読書を「とても重要」「重要」と考えている人が87.5%、本を月に2冊以上読む人が72.1%を占めている。

#### <図書館の利用目的、図書館で充実してほしいもの>

「図書を借りるため」が84.6%、図書館で充実してほしいものも「書籍、雑誌等の充実」が62.5%に上るなど、本や読書に関するニーズが高い層である。

#### <ライブラリーセンターで何ができれば良いか>

「静かな部屋で調査や自習ができる」「くつろぎながら読書ができる」の回答割合が全体より5ポイント強上回るなど、図書館へのニーズは資料の充実、静かな読書環境に集中していると言える。

一方で、図書館で充実してほしいもので「居心地の良い読書空間」という回答も6割近くあり、ライブラリーセンターで何ができれば良いか、についても「目的がなくても気軽に立ち寄れる」が「くつろぎながら読書ができる」よりも10ポイント以上の回答数が多くあり、「仕事、学校帰りに気軽に寄れる」も一定の支持があった。



図書館は、読書に対するニーズの高い層が定期的に利用しており、この層のニーズには一定程度応えていると考えられるが、居心地の良い空間、目的がなくても気軽に立ち寄れる雰囲気などは、図書館の定期的利用者からも求められている課題と言える。